



くすのき



No. 45

H29年2月発行

◆子ども・若者支援講演会「カウンセラーから見える若者支援」を開催しました◆



1月28日土曜日、臨床心理士の石川健司氏を講師にお迎えして、講演会を開催しました。講師の石川氏は、愛知県教育委員会スクールカウンセラースーパーバイザーのお立場で市内の小中学校に来ていただいたり、がまごおり若者サポートステーションで就労に不安がある若者への心理相談を行ったりするなど、蒲郡にも縁のある方です。講演の一部をご紹介します。

最近、経験値が少ない状態で小学校に入学するために、小学校の初期の段階で不適応となるケースがある。他人の言っていることを聞くことができなかつたり、自分の気持ちを言葉で表現できなかつたりすると、笑われたり、からかわれたり、叱られたり…。それが続くうちに自分に自信が持たなくなってきたり、辛い現実に向かい、気持ちが失われてしまう。20～30歳くらいのひきこもりの若者に聞くと、他人との距離のとり方がわからないと、人それぞれのストーリーを語ってくれる。支援者は、そんな子の話を聞いて、共感し、その子に今できることは何か考えていくことが大切である。

若者の自死は、長い期間悩んだ末のものが少なくない。20歳代の自死は、学校にいるうちに受けた心の傷（いじめ、虐待など）が原因で起こることが多い。自傷行為から自死に至ることも多い。学校で、子どもが他の子どもの様子に気付き、信頼できる大人につながることができれば、自死を防ぐことができるかもしれない。その他にも、家庭などの安心できる居場所がなかったり、負担感（ストレス）を強く感じたりするときも、現在の環境や対人関係から逃げたいという気持ちから、自死の危険性が高まると言える。身近なゲートキーパー（変化に気付き、本人の気持ちを傾聴し、専門家につなぎ、見守る人）の存在が求められる…。

続いて、支援者としての心構えについて、詳しく話していただきました。

石川先生、お忙しい中、本当にありがとうございます。



◆二月は「家庭の日」県民運動実施期間です◆

◆「家庭の日」啓発ポスター優秀作品展示会◆

市内小中学生を対象に募集した「家庭の日」啓発ポスターの優秀作品47点を展示します。ぜひご覧ください。

◆期間：2月6日(月)
～2月19日(日)

◆場所：アピタ蒲郡店1階



※写真は昨年度の展示の様子です

3月の補導予定

大塚班 10日(金) 18:00 大塚公民館
三谷班 17日(金) 18:00 三谷公民館
蒲郡班 未定(反省会)
中部班 10日(金) 17:30 西部小学校
塩津班 10日(金) 18:00 塩津公民館
形原班 10日(金) 19:00(反省会)
西浦班 10日(金) 17:20 西浦駅

よろしくお願ひします



◆編集後記◆ 1月の形原班の合同補導は、補導員研修としてインターネットの出前講座を実施しています。今回で5回目になりました。「公共の場で乳幼児を静かに待たせるとき、スマホを手渡すと効果抜群。それに味をしめて普段からスマホで遊ばせていると、子どものうちからスマホ依存（ネット依存）になります。一番怖いのがコミュニケーション能力の低下です。」と話してきたところです。相手を傷つけないように自分の気持ちを話すのは、経験値が必要な能力だと思います。経験値の少ないまま小学校に入学することと、スマホ育児には何か関係があるのではないかと思った私です。

